

花いっぱいボランティア2015

医療社会事業専門員 坂本 千夏子

今年も七尾病院では、院内スタッフによる花づくりボランティアを行いました。

それでは、これまでの活動をご報告させていただきます。チューリップ等の球根類は、昨年10月頃に地中に植え、春を待ちわびて咲いてくれました。その他、ランタンキュラス、アネモネ、スイートピー、百合類が咲き誇りました。今年は6月上旬より活動を開始しました。隔週の火曜日または木曜日（雨天順延）17:30～18:30、耕した土に穴を掘り、花の苗を植え、適度に水撒きを頑張りました。春の花も見頃を過ぎ、職員有志の花づくりボランティアにより、夏から秋に見頃を迎える花として、サルビア、日々草、マリーゴールド、朝顔、西洋朝顔、ダリア、ポーチュラカ、キキョウナデシコ、メランポジウム、コスモス、黄花コスモス、ひまわり、インパチェンスなどを植え、お世話しました。今年の七尾は適度な雨天と十分な晴天にも恵まれ、グリーンカーテン目的の外来診察室窓辺のひょうたんの葉以外は、花が枯れたり病気にかかることなく、順番に開花の見頃を迎えることができました。毎年、当院の坂道や花壇が花いっぱいになることを楽しみにしていただいている患者さまやご家族、来院される方の多くが長く草花を楽しめたのではないかと思います。毎年のことですが、スタッフ皆、勲章のように蚊に刺されながらの除草作業で大変辛い思いもしましたが、ぐんぐん成長する自然界の生命力は素晴らしいです。

最後に、花づくりボランティア活動が広がり、皆さんが気持ちよく一日を過ごすことができるように、これからも日々患者サービスと環境整備に努めていきます。

